

# 津市の財務書類を公表します



地方公共団体の会計は、家計簿のような「現金主義」を採用しています。「現金主義」は、決められた予算の中で現金を支出するため、予算をまとめやすく、現金の動きが分かりやすい仕組みです。しかし、一方で地方公共団体が今までに整備してきた資産や、行政サービスのコストがどのくらいかかっているかという情報が、分かりにくい面もあります。

そのため、全ての資産・負債情報なども把握できる「発生主義」の考え方が導入され、津市でも国が示した基準に基づき、資産・負債などの状況や、行政サービスのコストがどのくらいかかっているかなどを示した4つの財務書類を作成し、毎年公表しています。

ここでは、一般会計と全ての特別会計・公営企業会計を合算した市全体の財政状況が分かる「財務書類4表」のうち、貸借対照表と行政コスト計算書の概要をお知らせします。

※平成28年度決算から、国が示す統一的な基準に基づき財務書類を作成しています。平成27年度までは総務省が示していた基準モデルを採用していました。

※特別会計のうち、モーターボート競走事業特別会計と簡易水道事業特別会計は、公営企業会計への移行時期であるため、経過措置として連結の対象外としています。



## 貸借対照表 Balance Sheet



市がどれほどの資産を所有し、債務を負っているかのバランスを明らかにしたもので、市の資産をどのような財源(負債や純資産)で築いてきたのかが分かります。表の左側にこれまで取得してきた土地や建物・預金などの「資産」を、右側にその資産を形成したことによる将来世代の負担である「負債」と、これまでの世代が既に負担した「純資産」を表しています。



### 家計に例えてみよう!

- **流動資産**…定期預金、積立保険金など
- **固定資産**…家、家具、車など
- **負債**…まだ払い終わっていないローン残高、将来かかる子どもの進学費用など

平成29年3月31日現在

単位：百万円

資産の部			負債の部		
流動資産	現金預金	10,859	流動負債	1年以内償還予定地方債など	15,407
	基金(財政調整基金、減債基金)	18,623		その他	5,874
	その他	2,476		合計	21,281
	合計	31,958	固定負債	地方債など	177,919
固定資産	有形固定資産(土地、建物など)	782,040		退職給付引当金	23,755
	無形固定資産(ソフトウェアなど)	5,788		その他	88,692
	その他(投資など)	12,187		合計	290,366
	合計	800,015		負債合計	311,647
	資産合計	831,973		純資産の部	
				純資産	520,326
				負債・純資産合計	831,973

### 平成28年度 市民1人当たりの貸借対照表

市民1人当たりの貸借対照表は、上記の貸借対照表の値を平成29年3月31日現在の津市の住民基本台帳人口28万710人で割ったものです。市民1人当たりの資産は約296万円、負債は約111万円、純資産は約185万円になります。

資産  
約296万円

うち流動資産11万円、  
固定資産285万円

負債  
約111万円

純資産  
約185万円